

第23回市民との意見交換会・報告書（謹教地区）

開催地区：謹教地区	開催日時：令和元年11月13日（水）18時30分 ～ 20時00分
担当班：第4班（出席議員）中島好路、清川雅史、小倉孝太郎、内海 基、奥脇 康夫（欠席議員）なし	
開催場所：會津稽古堂 研修室2	
参加人数：男性 11名、女性 5名、合計 16名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）	
<p>1. 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>①決算について</p> <ul style="list-style-type: none">・9月定例会において平成30年度の各会計歳入歳出決算が認定されたことを報告したが、特に意見は出されなかった。 <p>②市庁舎建設について</p> <ul style="list-style-type: none">・建設場所について、現在地よりも葵高校グラウンド（謹教小学校跡地）が適しているとの意見をいただいた。 <p>【その他の主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none">・建設委員会による要望的意見、承認第18号監査委員の選任、防災自主組織、空き家対策 など <p>2. 地区別テーマでの意見交換についての総括</p> <p>(1) 地区別テーマ</p> <p>謹教地区における中心市街地活性化について</p> <p>(2) テーマ設定の理由、背景</p> <p>謹教地区は、神明通りやAiCT、鶴ヶ城周辺公共施設などがあり、中心市街地活性化は関心事であることからの設定となった。</p> <p>(3) 主な地域課題</p> <p>人口減少とともに少子高齢化が進んでおり、町内役員のなり手や自主防災組織の結成には不安がある。空き家が増加傾向にあり、中心市街地の活性化のため、早急な市の対策に期待が寄せられている。</p>	

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
広報議会における9月定例会の報告の中で、道路に関する市民要望に対する計画的な事業執行の必要性についての要望的意見が出されているが、「市民要望に応えられているとは言い難い現状」とはどのようなものなのか。	道路整備における市民要望が平成30年度は805件(平成29年度繰り越し分を含む)あったが、そのうち110件しか対応できていなかったことから、建設委員会では市民の要望に十分に答えられていないと考えたため、要望的意見を出した。 (道路補修やカーブミラーなどの具体的な対応件数は詳細に発表した。)	○ ●	①		道路 政策討論会
以前、市庁舎を今の葵高校のグラウンドの所(謹教小学校跡地)に建てるという話があったと思うが、改めて要望したいと思う。	確かに以前はそのような要望があったと認識しているが、第7次総合計画においては現在地で建て替えることとしているので、ご理解いただきたい。	○	①		行政
承認第18号の監査委員の選任について、1票差であるがその理由はなぜか。	人事案件において1票差は珍しいとは思いますが、表決においては各議員の個人判断であるので、詳しい内容についてはわからない。	●	①		議会運営
自主防災組織の結成率が2.1%ということで、数値が上がっていないが、結成率を上げるためには目標値を立てるだけではだめで、積極的な働きかけが必要なのではないか。	所管である文教厚生委員会で地域の防災を今後の重要テーマとしていきますので、所管の委員会に報告し協議をさせていただく。	○	①		防災・安全
百足屋から新横町(県道59号)に向けての道路状況がよくない。歩道も片側しかないので、しっかりと整備をしてほしい。	個人的なご意見として受け止めさせていただく。	○	②		道路

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
今回の市民との意見交換会は、すべて開催時間が夕方以降であるが、女性が出てきやすくするためには、午前中や午後の早い時間に設定するべきではないか。	以前には土曜日や日曜日の早い時間に設定したこともある。確かに女性の方が出席しやすい時間の設定はこれからも考えていかなければならないと思うので、所管の広報広聴委員会に報告しておく。今後は保育所や幼稚園の関係者などといった分野別の意見交換会も開催していきたいと考える。	●	①		意見交換会
今回の台風19号の時の避難所運営がスムーズではなかったと聞いている。また、避難所への誘導として広報車で避難場所を案内していても聞こえにくかったので、情報弱者の高齢者などのための手段をしっかりと考えてほしい。	12月定例会の代表質問や一般質問でも多く議員が取り上げる予定であり、議会でも今後しっかりと注視していきたいと考える。	○	①		防災・安全
今回の県議会議員選挙でも会津大学生が投票立会人などをしてしたが、投票権が18歳以上になったので、高校生を立会人として選出したらどうだろうか。	確かに投票率の向上のためにも有効な方法だと考えられるので、折を見て提案したいと思う。	○	②		選挙
消防団員はさまざまな訓練の経験があり、知識もあるので、自主防災組織につなげるためにも、町内会から若い消防団員を出してほしい。現状では消防団員が全然足りない。	個人的な要望事項として受け止めさせていただくが、自主防災組織の結成のためには消防団員の力をぜひともお借りしていきたいと考える。	○	②		防災・安全

○ 地区別テーマでの意見交換について → 謹教地区における中心市街地活性化について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	それでは、謹教地区における中心市街地活性化について、皆様からご意見を伺いたい。			
放射線の空間線量の資料をいただいたが、東日本大震災直後と現在を比較するためにも、西出丸駐車場における最新の数字がほしい。	今回の資料は環境生活課からいただいたものであるが、確認して後日回答する。	○	③	担当に確認し、事後報告する。 (事後処理報告書P8に記載)
中心市街地が活性化するためには高齢者が公共交通を利用することが考えられるが、利用時に市からの補助は出ないのか。	現在は民間企業でのサービスが中心であるが、所管である総務委員会では公共交通をテーマとしているので、報告しておく。	○	②	
SamuraiMaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）が認可され、公共交通機関網の整備をしてほしい。	所管である総務委員会では公共交通をテーマとしているので、貴重な意見として受け止め、報告しておく。	○	②	
中心市街地の活性化の柱の一つとして、インバウンドがあるのはわかるが、まずは中心市街地の人口を増やすべきではないか。9月定例会の報告の中での少子化対策についての議論も、もっと詳しい内容を知りたい。	確かに中心市街地での空き家も増えていて、人口が減少していると認識している。少子化対策については文教厚生委員会で議論を進めている。なお9月定例会における文教厚生委員会での議論の詳細については会議録を見ていただきたい。	○	②	
本市は少子高齢化が進んでいると聞くが、80歳以上の人口と10歳未満の人口のどちらが多いのか。	80歳以上が12,151人で、10歳未満が9,184人ですので、80歳以上の方が多いう少子高齢化である。	○	①	
今回のテーマである「中心市街地の活性化」は広すぎるのではないかと。もう少し細かい分野別のテーマで考えていくべきだと思う。	確かに広すぎるテーマだったかもしれないが、様々な視点からご意見をいただきたいと考えている。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 謹教地区における中心市街地活性化について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
神明通りや野口英世青春通りでは、中心市街地の活性化のひとつの取り組みとして、健康をテーマとしてまちづくりをしている。	本市民の健康づくりに寄与していただいております。	○	②	
中心市街地活性化の一つのキーワードに賑わいづくりがあるが、今の本市では行列のできるようなお店は携帯電話会社くらいである。どうなったら活性化なのか、活性化のためにどうしたいのか、そのためにどうするのかを考えていかなければならないと思う。	おっしゃるとおりに、まずは中心市街地の活性化とはどのようにあるべきなのか、といった理想像を考えることが先決であり、次に、そのために何をどうすべきなのかを考えていくことが重要であると考えます。	○	①	
補助金を使って市役所などの建物を建てても人がいないのでは意味がない。元気で楽しいまち、輝いているまちのためにはどのようにすればよいのかを市議会議員、市長、市民と一緒に考えていくべきだと思う。	確かに、我々議会としても市民の皆様と同じ方向を向いて、元気で楽しい、輝いているまちを作りたいと思っているので、今回のような意見交換会でのご意見を参考にしていきたいと考えている。	○	①	
私の地区では空家が2件あったが、1件は蔵屋敷にして、もう1件は簡易宿泊所にしたので、活性化したと思っている。活性化のためには、空家をなくすことも大切だと考える。	空家については、区長さんへのアンケートを整理したところであり、まずは空家と報告のあった1,714件のうちの特定空家に指定された18件について助言書を送付して、2件が解体されたところである。	○	①	
空家の活用方法を市ではどのように考えているのか。	会津若松市空家等対策協議会を設置して年3回の予定で会議が開催されており、その中で活用についても検討されている。メンバーには、区長会や会津短大名誉教授、土地家屋調査士会、建築士会、第2包括支援センター、社会福祉協議会、建設事務所などの方がいる。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 謹教地区における中心市街地活性化について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
町内会が高齢者ばかりで子どもがほとんどいないのが現状である。60歳代も少ないため、町内会役員の後継者もなく今後町内会運営をどのようにしたらいいか不安である。自主防災組織を立ち上げるのも難しいと考える。	少子高齢化が進み、町内会役員のなり手がいないのは、本市全体の傾向であり、自主防災組織の結成率が低いのも、そこに原因があると考えている。	○	①	
空家の活用のための家賃補助のなどはできないのか。	今のところ家賃補助はないが、空家等改修支援事業として、空き家を活用される方を対象に、対象経費の1/2以内で上限50万円の補助は出している。	○	①	
謹教地区の保育園に勤めているが、預けている理由が保護者の勤務先が近いからというのが多く、地元の子どもたちが少ない。地元の子ども会もなくなって、高齢者の一人暮らしが多いことから、地域貢献として第2包括支援センターと子どもたちの交流を行ってきた。今日のような地元の方との意見交換ができてとてもよかった。	本市全体としても高齢化が進んでおり、子どもたちとの交流は大切なことだと考えていますので、今後も更なる交流を続けてほしいと思う。	○	①	
地元の保育園は駐車場が狭いため、保護者の送り迎えの時に路上駐車になってしまうことがある。近所の駐車場をお借りしたりして対応しているが、駐車場の確保が難しい現状を分かってほしい。	駐車場の件は前園長からもお話しをいただいております。現状は理解している。議会でも再度とりあげてもらえるように伝えていく。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 謹教地区における中心市街地活性化について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
中心市街地の活性化のための組織は、どのようになっているのか。	中心市街地活性化協議会のメンバーは、商工会議所の会頭を会長にして、市長、商店街連合会、アネッサクラブ、建設業組合、東北電力、NTT、社会福祉協議会など、様々なジャンルの方々に構成されている。また、オブザーバーとして、経済産業省や国土交通省の地元の局長や所長、会津若松警察署長、会津大学の学長などが参加している。	○	①	

市民との意見交換会・事後処理報告書

謹教地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 空間放射線量について (P 4)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 西出丸駐車場における最新の放射線量が知りたい。</p> <p>【事後処理結果】 11月14日、環境生活課に確認。 環境生活課からの資料では鶴ヶ城内は管轄外であるために載っていなかったが、花と緑の課が本丸公園で測定した数字があった。 それによると本丸公園での令和元年5月の値は測定高1 mで0.08 μsvだった。</p> <p>【参考】 ※本丸公園での測定数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ●測定高1 m 平成23年4月15日～6月22日 0.28 μsv 平成23年9月6日～9月8日 0.23 μsv 平成29年5月9日～5月29日 0.10 μsv 平成29年9月4日～9月26日 0.09 μsv 平成30年5月7日～6月5日 0.09 μsv 平成30年9月12日～10月12日 0.08 μsv 令和元年5月7日～5月21日 0.08 μsv 	